

1-3)40周年記念事業活動報告

「 広げようテニスの輪！ 楽しもうテニスを！ 」

平成29年3月25日
40周年記念事業実行委員会

40周年記念事業は、30周年の反省を踏まえ、かなり早い段階より各団体代表の皆様にご意見を伺い、事業の方向性や実施内容などを検討して、企画実施しました。具体的には、定例総会や代表者懇談会などで意見交換を行い、2015年度に準備委員会を発足させ、本年度本格的に実行委員会として、活動してまいりました。

経済情勢や時代背景そして、人々の意識が変化する中、今の時代にふさわしい周年行事を模索してまいりました。そして、加盟団体からも多くの方々のご協力を頂き、年間を通じて各種事業を無事に終了することができました。これまでのご協力とご支援に深く感謝いたします。

以下に事業報告をさせて頂き、50周年に向けて更なる飛躍を目指したいと思っております。

1. 活動結果報告

1) 通常事業での活動

(1) 第1回厚木市ジュニアテニス選手権大会

・大会参加賞として、40周年記念の記念品を提供。(あゆコロちゃんのスポーツタオル)

(2) 各種PR活動

- ・協会ホームページに事業内容を掲載しPR。 <<http://www.atsugi-tennis.jp/>>
- ・「広げようテニスの輪！ 楽しもうテニスを！」の横断幕を作成、各イベントで提示。
- ・公民館だより、あったかメール等でイベントをPR。
- ・南毛利、荻野、若宮、厚庭の各テニスコートにイベント案内を掲示。

2) 記念イベント

例年の指導会とは違った、10年度に一度の記念イベントとして、多くの一般市民と親子の方々楽しんで頂けるように色々なメニューを用意して実施した。総勢300名を超える多くの方々に参加して頂いた。あゆコロちゃんの登場で、会場は大いに盛り上がった。

- (1) 日時 2016年11月12日(土) 9:00 ~ 15:00
- (2) 会場 荻野運動公園テニスコート
- (3) 運営スタッフ イベントスタッフ 45名
- (4) 特別参加 元日本リーグメンバー(リコー 8名、NTT東関東 1名)、AOP上位者 4名
- (5) 記念イベント内容

No	内容	開催時間	会場	対象	参加人数
①	テニスレッスン:第1クール	9:15 ~ 10:45	A、B面使用	一般向け	20名
	テニスレッスン:第2クール	11:10 ~ 12:40	A、B、C面使用	一般向け	30名
	テニスレッスン:第3クール	13:30 ~ 15:00	A、B、C面使用	一般向け	30名
②	元日本リーグ選手 対 AOP上位者によるデモ試合	10:45 ~ 11:10	B面使用	一般向け	観戦者50名
		12:40 ~ 13:05			
		13:05 ~ 13:30			
③	親子テニス	9:15 ~ 10:30	C、D面使用	親子向け	21組(42名)の親子
④	スマートテニスセンサー体験	10:45 ~ 12:00	D面使用	一般向け	14名
		13:30 ~ 14:45			15名
⑤	スピードガンコンテスト	12:00 ~ 12:45	D面使用	一般向け	60名
⑥	ターゲットテニス	10:45 ~ 12:00	壁打ちコート使用	一般向け	106名
		13:30 ~ 15:00			
⑦	ミラクルテニス体験	11:00 ~ 14:30	壁打ちコート使用	一般向け	30名
⑧	テニスショップ	9:30 ~ 16:00	コート手前のテント	一般向け	-

3) 記念式典・パーティー

参加者から楽しかったと言って頂けるような式典・パーティーにすることを目標に式次第の見直しや内容の検討を行い、企画実施した。出席者は150名弱と30周年より少なかったが、ゆっくりと歓談でき、評判は良かった。

(1) 日時 2016年11月12日(土) 18:00 ~ 20:00

(2) 会場 レンブラントホテル 3階の「相模の間」

(3) 式次第

時刻	次第	内容
18:00	開会の辞	司会者より開会宣言
18:02	会長挨拶	山下新会長による来場者に対する挨拶
18:05	来賓祝辞	小林厚木市長と山田神奈川県テニス協会会長より、祝辞を頂く
18:10	来賓紹介	出席の全来賓者を紹介
18:15	乾杯	日下神奈川県テニス協会理事長のご発声による乾杯
18:20	ゲストスピーチ	佐藤哲哉プロ、リコーの前田博之様のスピーチ
	歓談	
	第1回目の抽選会	公開抽選
18:45	表彰式	40周年記念表彰選考委員会の花田浩一幹事長より、選考結果が報告され、感謝状贈呈(2名、6団体)、功労者表彰(17名、1グループ)優秀選手表彰(6名)、特別表彰(1名)の26名、6団体、1グループが表彰される
	歓談、祝電披露	
	記念イベントの写真上映	記念イベントのリーダによる説明
19:25	40周年記念誌紹介	本庄リーダから記念誌の紹介
19:30	第2回目の抽選会	旅行券とレンブラントホテルからの食事券(2枚)が目玉品。
19:55	閉会の言葉	小林実行委員長の謝辞
20:00	閉会の辞	司会者より閉会宣言

(4) 出席者

出席者	人数	備考
招待者	来賓(県関連)	3 厚木市長、神奈川県テニス協会会長、理事長
	市体育協会関係	3 体育協会、社会教育部、ソフトテニス協会を含む
	近隣協会(9協会)	15 ファミリーテニス協会を含む
	受表彰者	26
	当協会顧問+OB	6
	その他	6 リコーの元日本リーガー
団体参加者(26団体)	88	当協会役員、理事を含む
当協会役員・理事(団体に含む)	0	
合計	147	

4) 特別企画

(1) PLAY & STAY親子キッズテニス教室

キッズの育成のためのきっかけ作りとして、多くの親子様に参加して頂きた。

今回は40周年記念事業の特別イベントとして、近年、世界的に話題になっている「PLAY & STAY」の練習プログラムに従って、キッズネットやレッドボールを使って、親子でラリーができる様になることを目標に実施した。

・日時 2016/6/12 10:00 ~ 12:00, 13:30 ~ 15:30

・会場 荻野運動公園テニスコート

・対象 厚木市関係者の小学1年生から6年生とその保護者

・講師 新井 麻葵(あらい まき)プロ(ヨネックス)

・参加者 10:00 ~ 12:00 午前の部 30組 13:30 ~ 15:30 午後の部 25組

・内容 PLAY & STAYの練習プログラムに沿った親子参加型のキッズテニス教室

・総評 今日を機会にテニスが好きになってくれたら嬉しいです。

保護者の方は子供の良いところを見つけて褒めてあげてください。(新井プロ)

(2) HPリニューアル

時代に即したホームページの管理、運用を検討し、下記のようにリニューアルを実施しました。

・Webサーバのレンタル先を変更 「さくらインターネット」のクラウドサーバに変更。

・独自ドメインを取得 「atsugi-tennis.jp」ドメインを登録。

・HPのURLが変更 <http://www.atsugi-tennis.jp/> に変更。

・HPの各ページのリニューアルを実施しました。

・2016年8月1日に新HPを公開運用を開始しました。

5) 記念誌作成・発行

時代に即して、紙面による記念誌を最小限に制作して、Webサイトで公開する事を基本とし、多くの方に何時でも、どこでも読んで頂ける様にした。内容としては、祝辞、寄稿文、協会の歩みに加えて、40周年記念誌として、下記の内容を織り込んだ。

- ・40周年記念事業の報告
- ・加盟団体の紹介(29団体)
- ・大会運営やレッスンに関するノウハウ
- ・個人向けの十年史

- (1) Web公開 http://www.atsugi-tennis.jp/40th_kinen/kinenshi/wp/
- (2) 記念冊子 加盟団体、役員・理事・寄稿者・近隣協会向けに100部制作。

2. 各活動の振り返り

1) 良かった点

(1) 全体を通じて

- ・各イベントに参加された方々から、多くの好評の旨のご意見を頂けた。
- ・協会のホームページを通じ、各イベント活動のPRをすることができ、また、多くの方々に参画して頂けた。
- ・実行委員会では理事だけでなく、各団体から多くの方に参画して頂き、積極的に活動して頂けた。
- ・Eメールを使って、各メンバー間の情報共有をしながら進められた。
- ・キャッチコピーや協会ホームページをはじめ、多方面のメディアを利用して、一般市民にも広報することができた。

(2) 記念イベント

- ・イベントとしては、盛りだくさんの内容となり、多くの方に参加して頂き、観るだけでなく、参加して楽しんで頂けた。
- ・厚木市にある企業の実業団メンバーの協力により、厚木市ならではのオリジナルイベントにすることができ、参加者にも好評であった。
- ・準備、当日の運営は大変であったが、理事以外のメンバーも参画して頂き、計画通りに進めることができた。

(3) 記念式典・パーティー

- ・30周年の反省を踏まえ、加盟団体に出席者数の割り当てをお願いせず、自由参加とし、150名弱の方に参加して頂いた。
- ・10年の節目の式典・パーティーとして、参加者に楽しんで頂くことを目標に企画し、実施できた。
また、参加者からも好評であった。
- ・準備は不慣れの為、大変であったが、当日はスタッフの皆さんが一丸となり、式次第通りに進行できた。

(4) 特別企画

- ・今後のキッズテニスの指導活動につながるために実施したが、狙い通りの結果となり、次年度計画に織り込むためのベースとすることができた。
- ・協会のホームページがリニューアルされ、使い勝手も改善された。
また、ドメイン名も厚木市テニス協会の独自ドメインを取得できた。

(5) 記念誌作成・発行

- ・記念誌の発刊に当たって、配布メディアはWeb公開を主とし、内容も全加盟団体の紹介や個人の十年史など新たなコンテンツを記載することで皆様に読んで頂ける記念誌を発行できた。

2) 50周年に向けて再検討すべき点

- ・10年の節目の記念事業として、費用のかけ方、内容についても、テニス協会として、時代に沿ったものがどのような形なのか論議して進める必要がある。
- ・スタッフの募集、会議の持ち方など、全体で話をする事はほとんどなく、可能であれば顔の見える運営・携わった人がやって良かったと思える運営方法を、10年後も模索してもらいたい。
- ・今回うまく機能しなかった、事務局と各分科会の連携、リーダー会の方針と各分科会の運営など、多くの課題が残った。
- ・また、ネット社会における庶務に関する運営方法を検討・確立してゆく必要がある。
- ・今回は、記念イベント、式典・パーティー、記念誌、特別企画というカテゴリーで実施したが、10年後は、これに捉われることなく、時代背景を鑑み、その時のテニス情勢に沿って、自由な発想で記念事業を展開して頂きたい。
- ・イベントについては、日程、会場調整、駐車場、集客の問題など、引き続き課題は残されたままと思われる。10年後にどんな形態のイベントができるのか、今から楽しみである。
- ・式典・パーティーについては、今回一部来賓からお叱りを頂き、これまでの功労者としての役員各員におかれては、正式に来賓リストに列挙し、記念行事として、当日のおもてなしの面も含め、失礼の無いよう配慮してゆく必要がある。
- ・20周年・30周年時の反省にも挙げてきたが、記念誌のコンテンツとして、データ収集の際に、データがない、見つからないなどが今回も多々発生したため、収集作業がかなり発生した。毎年の活動のデータ化、保管を事務局・トーナメント部連携して、しっかりと実施していくことが、大きな課題である。

*各分科会の活動の詳細については、各分科会の報告書を参照ください。